東日本大震災復興支援
つながろう CO·OP アクション

くらし・地域復興応援募金 被災地応援ニュース

いわて便り

No.15 | 2017年10月11日発行 | 10月号 | 日本生協連 組合員活動部

食べものがおいしい季節となりました。が、畑のものも海のものもことしはちょっと少なそう。いつもなら、サンマの季節ですが、不漁でさんま祭の中止や缶詰工場の休業など、せっかく復興してきた沿岸のなりわいにも打撃を与えています。

ふれあいサロン　毎月40回開催しています

＜陸前高田市　二日市仮設住宅＞

布ふうりんを作成！かわいくできました！

＜宮古市　実田仮設住宅＞

ハギレとフェルトを使った小さな小物入れを作りました♪

サロンボランティアの声

仮設住宅の周りは住宅建設中が多くなり、山田線のお隣の仮設は今年中までで次の仮設へ移る事も決まっているようです。サロンへの参加者も入れ替わりが見られます。集会室のパネルには今月の行事が3件。その中のひとつが生協のサロンです。最後まで頑張ろうと思います。（大槌町　安渡第2仮設住宅）

サロンで手芸中に一瞬シーンとした静寂があり「シーンとしてるネェ」と冗談と笑いで針を運び、仕上がりに「ワァ～すてきだ」と好評して記念写真。おしゃべりでは、今の生活これからのこと、それぞれの胸の内を話し合いました。集まれる場があることへの感謝の言葉をいただきました。（陸前高田市　佐野仮設住宅）

災害公営住宅の家賃値上げで転居する方も（新聞記事より）

災害公営住宅は震災の特例で、所得に関係なく入居できる公営住宅ですが、家賃ルールは入居3年で見直しがあります。所得が高い人に家賃値上げの通知が届き始めました。これまで6.5万円だった家賃が一気に11万円に引き上げられる通知が届いた入居者は、他のアパートへの転居を余儀なくされました。宅地整備も遅れている状況で、もう少し被災者に寄り添った運用が望まれます。

バスボランティア

9月16日（土）バスボランティアで大槌町へ。「菜の花プロジェクト」で河川敷の花壇整備をしました。いわて生協に加え、おおさかパルコープ、よどがわ市民生協、ならコープ、職員研修で訪れているおかやまコープ、コープネット労組と、全国からの60人で活動しました。

3行レシピ１４集を発行しました　“簡単にできるあったかメニュー”

「ひとりになって作る気がしない、食べたくない…」との声から始まった「3 行レシピ集」。その 14 号を発行しました。今回のレシピは組合員からよせられたメニューが中心です。

3 行レシピ１４集はボランティアのべ 8 人にご協力いただき、ホチキス留め作業を行いました。その数は 3,000 冊！沿岸地区の「秋のコープのつどい」で配布します。

＜ホチキス留めの様子＞

ふれあいサロンでは 3 行レシピを活用した昼食会も開催しています。「一人暮らしになって焼きそばとか作らなくなったから久しぶりに美味しかった♪」と参加された方から喜ばれました。この間３行レシピ発行には、全国の生協からもレシピカバーの提供や販売などでご協力をいただいています。ありがとうございます。

「2017 年度 被災地支援活動助成金」の募集を開始しました

東日本大震災発生から 6 年半が経過し、沿岸部で支援活動に取り組む団体・ＮＰＯの中には資金不足から活動縮小や撤退せざるを得ないところが増えてきています。いわて生協では、全国の生協から寄せられた支援募金を活用し、こうした団体・ＮＰＯを支援するための助成金制度を昨年からスタートしました。現在 2 回目の募集をしています。

今年からは、東日本大震災に加えて、昨年岩手県を襲った台風 10 号の支援活動に取り組む団体にも助成を対応できるようにしました。助成団体の活動状況は、今後このニュースで報告します。

〈助成金活用の写真展〉

復興支援・地産地消フェスタで沿岸部の業者さんを支援

「岩手のものを利用して岩手を元気に」、「被災地のなりわい・仕事づくり支援を」と「復興支援・地産地消フェスタ」を６店舗で毎年開催しています。9 月 9 日、10 日は奥州市の「コープアテルイ」、9 月 23 日、24 日は一関市の「コープ一関コルザ」で沿岸地域からそれぞれ 14 団体が出店し、自慢の商品を販売しました。

発行　日本生協連　組織推進本部　組合員活動部
電話 03-5778-8124　Fax 03-5778-8125
担当　小池、住吉